

基礎基本を磨き、 強固な土台を築こう!!

実力を
伸ばすための

例えば建築で、穴だらけでガタガタの土台に家を建てたらどうなるでしょうか？そりゃあ崩れてしまいうでしょう。明白です。英語もこれと一緒なのです。英単語という土台をしっかりさせればさせるほど、その上に建てられる熟語・

実力を伸ばすための 土台作りに徹する今

僕は本当の本当に古文が苦手な、目も当てられないほどでした。先生に、「まずは基礎もド基礎の助動詞、古典単語をしっかりやろう」と言われた僕は、がむしゃらに取り組みました。地味で退屈だったけれど、これも覚えろ！と古文が読めないと文句を言う権利もないと自分を戒め、ひたすら覚えることに没頭しました。これが功を奏し、ヒエログリフばりの難解さだった古文が、すこしずつ読めるようになっていったのです。シンプルイズベスト。裏技や近道なんてない。これが正攻法だと実感しました。その結果、センター試験本番では、古文で満点を取ることが出来ました。

苦手な古文が センター本番で満点

開明グループ
東進衛星予備校中村公園駅前校担任助手
鬼頭 尚輝
Naoki Kitou



PROFILE

名古屋市長大学経済学部 東進衛星予備校中村公園駅前校OB
(愛知県立明和高等学校卒業)

東進に入学することになったキッカケは？

1年生の頃、数学のベクトルのテストで赤点をとってしまったことがきっかけで、家の近くの東進でベクトルの体験授業を受けたところ、ベクトルそのものの考え方、本質を学ぶことができ、すごく理解できました。また、一時停止、巻き戻しをすることで分かるまで何度でも見られる映像授業の効率の良さに強く惹かれました。さらに僕は「今でしょ」の林修先生と誕生日が同じであると知り、これは運命だ！と入塾を即決したのでした。(単純)

文法も強固なものになっていくのです。東進には、高速基礎マスター講座という土台作りツールのプロがあります。この時期に上手く活用して、ちよつとやそつとの振動では崩れない頑丈な英語力を建てましょう！

苦手分野を狙い撃ち 優れた演習ツール

僕が一番気に入っていたシステムは、大問分野別演習という、センター試験の演習ツールです。大問分野別演習は、本試10年分+東進模試10年分の、やってもやってもやり切れない位の膨大な問題量があります。自分の苦手な所を狙い撃ちして徹底的に演習できる優れたものなんです。英語の文法問題や日本史の戦後史、漢文、数II Bの数列：これのお陰で点数の伸びた分野は数知れませんが、また、解いた問題は、自分の得点に応じて赤↓黄色↓青といったように色分けがされ、目で見てできない部分がパッとわかるのも魅力でした。真つ赤だった古典分野が、次第に黄色が増え、青になっていくのはとても嬉しく、モチベーションになりました。

受験を乗り越えてきた 担任助手を頼ること

成績アップの秘訣、それは、担任助手の先生方を有効活用する事です。どうしても映像授業では、疑問質問を先生に直接聞きに行くことができません。しかし、その疑問を解消することなしに、成績アップを目指すことは難しいです。そこで、各校舎の担任助手の先生方に質問をするのです。どの担任助手たちも大学受験を乗り越えてきた猛者揃いなんです。きつと丁寧に教えてくれ、疑問はすっきり解決するでしょう。また、問題の質問に限らず、学校の課題、勉強の仕方、良い参考書などもアドバイスしてくれます。お墨付きの勉強法を突き進めば、成績アップ間違いなしです！

経営に関する幅広い 分野を勉強中

僕にはロケットを飛ばすような、壮大な夢がありません。正直言って、公務員になるのか、会計士にでもなるのか、それとも起業して経営者にもなるのか、といった具合です。今は大学で、TOEICから会計ファイナンスからマネジメントまで、幅広い分野について勉強をしています。経済経営数学の講義は僕にとつて興味深いもので、熱心に耳を傾けています。この先僕がどういう道に進むことになっても、現状のせいで道を狭めることのないように、さらながら受験生に負けないように頑張りたいと思います。

東進のシステムで 合格を勝ち取るう！

受験において、スタートに遅れることはあっても、フライングはありません。早く受験勉強を始めた分だけ、他の受験生よりも有利になります。抜群の効率性の映像授業、土台を完璧にするマスター、そして猛者の担任助手の方達と揃い踏みで東進で、合格目指して頑張りましょう！



開明グループの東進で活躍する担任助手のインタビューセクション『Kaimei SpotLight』

受験勉強の相談・グループミーティング・質問応対など、日々頑張る生徒のみなさんを応援する、今や東進ではなくてはならない存在の担任助手。そんな担任助手にスポットライトを当て、受験勉強を通じて得たものや、成長できたこと、勉強の仕方や受験に対する考え方など、現役高校生の頃の実体験に基づき、大学生になった今だからこそ言えることを本音で語ってもらいます。



記事に SpotLight!! プチコラム 「あと伸び力」は、「今」つける！

例年、「センター試験過去問演習講座」は合格者から大好評のコンテンツです。そのセンター試験過去問演習講座にある、「大問分野別演習」はセンター試験本番レベル模試の過去問を分野別に徹底演習できる優れたものです。弱点克服にも効果的。しかし、弱点克服に使えとはいえず、問題はあくまでもセンター試験レベル。基礎基本の土台がしっかりできていなければ、成果は出にくいのです。高3生になったら早い生徒は夏前から演習をスタートしますので、それまでに基礎基本の土台がしっかりできていなければいけないこととなりますね。そこから逆算すると、**高2生も高1生も、「今」が基礎基本の土台をつくる大切な時期**だということがわかってきます。—「あと伸び力」は「今」つけること—。日々の積み上げが必ず高3生の夏以降、演習を通じて成果としてあらわれてきます。

そして、東進のシステムは向上得点や達成度を色分けで教えてくれるなど、あらゆるコンテンツの進捗状況・達成度合いが可視化されています。成績が大きく飛躍するまでの間、このままで大丈夫なのだろうか…と不安になることはよくあると思います。そんな時、小さなことでも一つ一つをきっちり完了させていくこと自体が自信やモチベーションにつながり、不安が解消されていきます。逆に、中途半端だといつまでたっても自信がつかない、モチベーションも上がってこないということにもなりかねません。今回の鬼頭君の記事にもあったように、向上得点をはじめとする指標や、達成度を示す色分けをうまく自分のモチベーションにつなげていけたらいいですね。

